

令和4年度 わかば教室（サテライト教室）の実施状況

別添資料③

■ わかば教室（サテライト教室）

令和5年度から、現わかば教室以外に新たなコンセプトに基づく教室を新設することで、不登校児童生徒の受入れ体制の強化を図るため、令和4年度にわかば教室のサテライト教室2カ所を開設し、そのニーズを検証する。

1 体験活動型わかば教室 10：00～14：00

	月日	活動場所	活動内容	参加者							実施状況	
				小	中	保	B	M	S	講		
1回	11/2(水)	少年自然の家	自主学习 野外炊さん	6	2					3	2	宿泊館で自主学习の後、野外炊さん(カートンドック・焼きそば)を実施。野外炊さんは外部講師2名が担当。当日当課職員が他事業に従事したためスタッフの確保が十分でできなかった。持続可能な取組を行うには、計画的な実施とスタッフの確保が必要である。
2回	12/7(水)	少年自然の家	自主学习 平荘湖周辺散策	5						3	2	宿泊館での自主学习、食堂での昼食(持参のお弁当)の後、平荘湖周辺でネイチャービンゴ。「冬」にまつわる読み聞かせのあと、植物や生き物を見つけながら歩いた。長いススキを協力して見つけたり、誰かが見つけたかわいい木の実に珍しい葉っぱをみんなで取ったりした。また、それらを使って簡単な工作をした。外部講師の得意分野、また経験を活かした活動であり、良い内容だった。今後も講師の専門性を活かした活動内容に期待。
3回	2/8(水)	少年自然の家	自主学习 工作体験	7						2	2	宿泊館に移動後、アイスブレイクで簡単なゲームを行った。その後、各々自主学习ののち、昼食をとる。昼食後は外部講師2名が合流し、木工工作を行う。天気もよかったことから野外で思い思いに材料となる自然物を集めて、プレートに張り付け案内ボードを作成した。準備・進行ともに外部講師に一任してスムーズにプログラムが流れた。
4回	3/8(水)	少年自然の家	自主学习 サイクリング	7	1		1			2		宿泊館での自主学习・昼食(持参のお弁当)のあと、ウエルネスパークに移動。自転車・ヘルメットをレンタルし、平荘湖周辺をサイクリングした。サイクリングの途中で、自己紹介ゲーム・じゃんけんゲーム等を行い、交流を深めた。初めて参加した児童は「交流できてよかった。」と感想に記しており、友だち同士のつながりも持っていた。
				25	3	0	1	0	10	6		

2 学習支援型わかば教室 10：00～12：00

	月日	活動場所	活動内容	参加者							実施状況	
				小	中	保	B	M	S	講		
1回	11/8(火)	平岡公民館	自主学习 カードゲーム	2	4					1	1	学習60分とカードゲーム30分。質問をする生徒と黙々と取り組む生徒等、各自のペースで学習。カードゲームは大人も交えて、大盛り上がり。振り返りの元気度では100%4人、99%1人、90%1人。初めて参加した生徒は「にぎやかな場が苦手な自分でも、楽に過ごすことができた」との感想。課題としては、60分の学習は少し長く、次回からは間で少し休憩になる活動を取り入れたい。今回は初めての指導員との活動のため、事前に子どもたちの情報を交換。子どもにとっても温かく接していただき、子どもたちも安心して過ごすことができた。今後も、安心してお任せできる指導員さんに継続して来ていただけるかも課題。
2回	12/13(火)	平岡公民館	自主学习 ボードゲーム	5	3					3	1	学習50分とボードゲーム40分。簡単なテーブルゲームにすることで、短時間でも楽しむことができた。見学に来ていた寺子屋塾より貸し出し依頼あり。今後も手軽なコミュニケーションツールとしてボードゲームを有効活用したい。外部から来られている方との事前情報共有が不十分。また、今後、参加人数が増加した際に指導員が不足し、学習支援が十分にできなくなることが予想される。
3回	2/14(火)	平岡公民館	自主学习 百人一首	3	3			1		3		学習40分と百人一首(坊主めくり)40分。当初、入室を拒む児童がいたが、児童のペースに合わせて指導主事と共に入室。その後は、他の児童生徒と共に学習したり、遊んだりすることができた。平岡中学校メンタルサポーターが手伝いに来ていただき、学習支援が充実した。中学校の教科指導を担う人材が必要になってくるかもしれない。
4回	3/14(火)	平岡公民館	自主学习 将棋体験	4	2		1			2	1	自主学习45分と将棋を使った簡単なゲーム15分。また、講師によるマジックやワークシートを使った学習などを行った。学生ボランティアも参加し、自主学习時には丁寧に支援してくれていた。講師、ボランティア、指導主事2名が支援にあたったため、人員的に十分な支援を行えた。参加児童生徒は集中して学習に取り組み、将棋を使ったゲームでも白熱し、楽しむことができた。
				14	12	0	1	1	9	3		

小：小学生 中：中学生 保：保護者 B：ボランティア M：メンタルサポーター S：スタッフ(適応教室相談員・指導員・指導主事) 講：講師